

養護教諭の Well-being とヘルスプロモーションスクールの関連性

順天堂大学大学院
スポーツ健康科学研究科
学籍番号：4119014
氏名：栗田 舞尋

【目的】

本研究は、現在取り組みが浸透し始めているヘルスプロモーションスクール(健康な学校づくりにおける社会的要因)とヘルスプロモーターである養護教諭の Well-being(健康観・幸福度)について検討し、関連性を明らかにすることを目的とした。

【方法】

対象は、協力都道府県 6 県の養護教諭 800 名であり、自記式質問紙法による調査を実施した。調査は、Well-being を検討するために健康・幸福感覚尺度(Happiness & Health Feeling Scale)、ヘルス・プロモーション・スクール評価票(2011 年度版、2013 年度版)を精査した質問票(以下 HPS 評価票)で、270 名から有効回答を得た。調査期間は 2020 年 6~9 月であった。

【結果】

その結果、養護教諭は Well-being が高い程、主観的幸福度は高くなりストレス度は低くなることが確認できた。職務満足度は眠り、笑い、食事と、HPS 評価票の合計得点は、眠り、笑い、食事、生きがいと関連があった。HPS が与える影響については、特に教員間での意思疎通が良好に行われていると、養護教諭の睡眠、笑い、生きがいに良い影響を与えていた。

【結論】

養護教諭の Well-being と職務満足度、ストレス度、主観的幸福度は関連があることが明らかとなった。ヘルスプロモーションスクールの中でも社会的要因を整えることは、養護教諭の Well-being に影響を与えることが明らかとなった。